

タイトル…私を愛してくれるよね？
＼超常現象研究部のヤンデレ先輩は催眠好き＼

■ヒロイン…愛島まりか

超常現象研究部所属。

超常現象研究部自体は何を

してもいい自由な部活で、みんな

好き勝手研究したり

幽霊部員したりしている。

いつか自分好みの王子様が

現れた時のために催眠を研究している。

（実際に人にやったことはないので、

覚えた知識を見様見真似）

ヤンデレ気質で、主人公に絶対に

自分を好きになってほしく、自分以外を

誰も見ないほど愛してほしい。

そのためなら拘束でもなんでもする。

普通にしゃべっているときは

ちよつとぶりっ子と言うか可愛い感じ。

ゆっくり話したり早口になったり語尾を

上げたり、ヤンデレらしくお願いします。

話し方は語尾を少し長めに伸ばしたり、

ゆっくりめで

話していたけるとありがたいです。

ヤンデレで盛り上がっている時などは

少し早口めでお願いしたいです。

エッチシーンは喘ぎ激しめに

えっちな感じでお願いします。

■記号・位置指定のルール

▼ハートマーク

一度つけた位置は以降の「」で同じです。
ただし、便宜のためページが代わるとき
などに改めてつける場合があります。

★はSEです。●はBGVです。

／スタッフ

企画・シナリオ・

ディレクション…御厨みくり

声… 柚木つばめ

イラスト… なえなえ

ロゴデザイン… ヲリ

音声編集… Tonerico

台本化… CPP・中島駿平

■トラック1 王子様、見つけちゃったあ…
…

★ゆっくりめ足音

／＼右側後方から正面近くへ歩み寄り
ながら話します。

「(後方から)あのお……

(正面)こんにちはあ……▼

あなた、新入生ですよね。

もしかして、部活、

探してますかあ……？」

「私、超常現象研究部ってところに入ってて。
男の子って、そういうの好きかなって」

「どうですか？

超能力とか、UFOとか予言とかあ……」

「そう、そうです、SFの世界っ。

ふふふ、ロマンがありますよね」

「活動は自由で、興味のあるものを
研究していく感じで……

部室に来るかどうかは自由なんです」

／＼泣きまね

「すごく緩い部活なんですけど、
うちの部、

部員がすっごく少ないんですよ……

もし、今年新入部員が

あんまり入らなかったら……

ぐすっ……部活、

なくなっちゃうかもしれない……」

〱一歩近づく、やや見上げるように

〱正面近くで話します

「だから、もし、他に入りたい部活、
なかったら……」

あなたと一緒に、部活できたら……
嬉しいなって思うんですけど……▼

「入りたい部活、まだないですか……？」

じゃあ……▼ 良かったら、

超常現象研究部、

入ってくれませんかあ？」

「うちの部だったら忙しくないですし、

学業にも専念できますし、

……ほら。恋愛とかも……▼

「もしかして、彼女さんとか、

いるんですかあ……？」

……あ、まだいないんですね。

……よかったあ」

「七森はこの間まで女子高だったし……▼

女の子、いっぱいいますよね？

意中の女の子とか、見つけましたあ？」

〱正面近くから左耳元へ移動しながら囁

きます（内緒話のように）

「恋愛とかあ、男の子だもん、

興味、ありますよねえ……？」

「結構、七森の女の子たちの間でも、

今回の共学化で、

みんなそわそわしてるんですよ……▼

／＼左耳元で囁きます

「お嬢様学校だから、

みんな男の子と接したことの無い人が
多くてえ……

男の子に興味深々で、

恋愛してみたいって人も、多いんです」

「あなたとか、すつごく、

モテちゃうんじゃないですかぁ……？

たくさん話しかけられますよね？

告白されたりしましたかぁ」

／＼左耳元から正面へ移動しながら話しま
す

「え、そんなことないですかぁ？

ふふ、まだみんな、

恥ずかしがってるのかもしれないですね」

「私はぁ……あなたと部活、

したいなって……▼

あなたにアプローチかけちゃう、

第一号になっちゃいます……▼」

「私、あなたのことが気になってて、

あなたのことを

もっと知りたいんですけど、

どうですかぁ……？」

「あ、もちろん、あなたに他に好きな人がで
きたら諦めますし……」

／＼正面で話します

「ね？　ね？」

あなたにすつごく興味がある私と、
良かったら、一緒に、部活、
してみませんか？」

「……えっ、いいんですかあ？」

そうですか、入りたい部活も
特になかったんですねっ……」

「わあ……嬉しい。

すつごく、嬉しいです……▼」

「じゃあ、じゃあ、待ってますからね？

ちゃんと、

入部届け出してきてくださいね？」

「ちゃんと、一人で出しに行けますか？

職員室まで付いて行って

あげましょうか？」

あ、顧問の先生にも紹介しないと……▼」

「大丈夫ですか？　一人で行けますか？

じゃあ……

大人しくあなたを信じて待っていますね」

「あなたと一緒に部活できるの、

すつごく楽しみにしてますから……▼

じゃあ、いってらっしゃいです▼」

★足音　主人公を見送る

／＼編集で聞いている方が音量上げないと聞
こえない程度

／＼後方、小声でつぶやきます

「ふふふ……

なんて、かっこいい子に

会っちゃったんだろう……▼」

「私の、王子様……▼

絶対に……私のモノにしてみせる……」

「そのためなら、私、

なんでもしちゃう……

逃がさないからあ……▼」

★フェードアウト

■トラック2 私の声でリラックスしてくださいね

★ドアを開ける音

／／正面遠くから話します

「あっ▼ こんにちはあ▼

入部届、出してくださったんですね」

★ドアを閉める

／／正面近くに近づきながら話します

「顧問の先生から聞いて、

居てもたってもいられなくて」

／／正面間近、抱き着く

「はあああ……

あなたが入部してくれて

良かったあ……▼」

「私、ずっと、ずっと待ってたんです。

今日から、あなたは

私の可愛い可愛い後輩さんですね▼

ふふふ、よろしくお願いします♪」

／／正面近くに離れる

「……あっ、いけない。

私、自己紹介してなかったですよね」

「愛島まりかと言います。

まりか先輩って呼んでくださいね？

はい、言ってください。

ま、り、か、せ、ん、ば、い……って▼」

／＼間5秒程度

／＼正面近くで話します

「……ふふふ、いいです。いいですね。

ふふふふふ……

はあ……録音して

ずっと聞いていたくらいです……▼」

／＼左右のぞき込みながら

「あなたって、

顔もすごく可愛いですけど……

声も、すごくいいですよねえ……」

／＼左右のぞき込みながら

「ずうっと、聞いていたく

なっちゃう声っていうか……▼

私と居るときは、

たくさん喋ってくださいね」

／＼正面近くで話します

「あ、スマホ持ってますか？

連絡先、教えてください▼」

「これから同じ部活なんですから、

連絡取れたほうがいいですよね？」

★スマホ取り出し、いじり

「あ、入力するので、

ちよつと貸してくれますか？

あ・い・じ・ま・ま・り・か……

と……▼」

／＼ちよつと怖い感じで左耳元に囁きます

「……連絡先、

結構いっぱい入ってるんですね」

／＼ごまかすように可愛く左耳元から正面
近くで話します

「いえ、お友達が多いのは、
すごくいいことだと思いますよ？」

「……はい、できました♪

いっぱい連絡してくださいね」

「あなたからの連絡、
いつでも待ってますから」

「あ、私は先輩なんだから、
敬語っていうのもあれですよねえ……」

／＼ここからタメ口。催眠の時などは敬語
です。

「じゃあ、今から、タメ口にするね……▼
あなたも、タメ口でいいよ？」

「そんなあ……
これからもっと深い関係に
なっていくんだから
気にしないでいいのに……」

「ふふ、真面目だなあ……▼
そんなあなたも可愛い……▼」

／＼正面近くで話します

「あ、それで、私の研究の説明をするね。

私は超常現象研究部で、

催眠をテーマに研究してるの」

「催眠って怖いイメージがある？

えー、怖くないよお？」

／＼正面右側に歩きます

「相手を思い通りにするんじゃないくて、

催眠で深層心理を

引き出してあげたりい……」

／＼正面左側に歩きます

「催眠療法って言って、

リラックス効果を

もたらすものもあるんだよ。

ヒプノセラピーとも呼ばれてるの」

／＼正面近くで話します

「そうだ、一度……やってみる？

ヒプノセラピー。

資格があるわけじゃないけど、

簡単な物なら私にもできるから」

／＼正面間近に近づいて小声で話します

「ちよつとだけ、試してみよつか……？

なんとなく感覚掴むような、

お・た・め・し……♪ ね？」

★右側遠くに歩いていく足音

★シャツ、カーテン閉め

〳〵右側遠くに移動しながら話します

「カーテンを閉めて、薄暗くして……」

じゃあ……この椅子に座ってくれる？

深く座って、深呼吸しててね……」

〳〵右側遠くから左側遠くへ移動しながら話します

「アロマとか炊いてみようかな……」

苦手な匂いだったら言ってね」

★正面間近へ近づく足音

〳〵演技…ここから催眠・

〳〵正面間近で小声で話します

「ゆっくり……」

目を瞑ってください……」

★音楽作曲して流せそうなら
ヒーリングミュージック

〳〵左側耳元で囁きます

「大きく……深呼吸して……」

すう……はぁ……

しつかり……リラックスして……

私の言葉に……耳を傾けてください……」

〳〵演技…音楽しつかり聴かせて、合間に
少しセリフ入るような感じでお願いします。
す。

／＼左耳元で囁きます

「入学して……ここまで……」

あなたの身体には……

知らず知らずのうちに……

疲れが……溜まっていると思います……」

「それを……少しずつ、

開放していきましょう……」

「あなたは今……」

真っ白な雲に包まれています……

指先から……足先まで全て……

温かくて……穏やかで……」

「ふわふわしてて……

身体に重さを感じて……

全ての力が抜けていきます……」

「頭の中から足の先まで……

全てが……柔らかさと……

温かさに包まれて行きます……」

／＼右耳元へ移動しながら囁きます

「目の前が……ふわふわの雲で

真っ白になるイメージをして……

ゆっくり……深呼吸してください……」

「真っ白な雲の中で、

ふわふわ浮いているイメージが

できましたかぁ……？」

「それでは、ゆっくり質問していくので……

無理せず、正直に答えてくださいね」

／＼右耳元で囁きます

「学園生活は……どうですか……？
楽しいですかぁ……？」

「ふふふ……、女の子がたくさんいて、
まだ大変なんですねー……▼」

「学園もまだ男の子がいるのに
慣れてないですしね。

トイレや更衣室も急いで
作ったものですし、困りますよね」

「お友達は……出来ましたかー……？
へええ……やっぱり……
女の子のクラスメイトに
よく話しかけられるんだー……」

／＼右耳元から正面間近へ移動しながらち
よつと怖い感じで小声で話します

「……ふうん……」

「ううん、あなたがすつごく
魅力的だからだよね？」

「こんなに女の子多いんだもん。
目移りしちゃうの、仕方ないよね」

／＼正面間近から左耳元へ移動しながら囁
きます

「じゃあ……今、
心配事は何かありますかぁ……？」

／＼左耳元小声で囁きます

「……そっかぁ……」

共学になったばかりの学園じゃ……

他に男の子が少なくて、

不安だよねぇ……」

「お嬢様ばかりなのも……？」

あなたのお家はそこまで

お金持ちじゃないんだ……？」

「あは、七森の学生もそこまで

みんなお嬢様ってわけじゃないよお」

「私だって……別に、

お嬢様っぽくはないでしょう？」

「あなたが意識しちゃうつて

言うんだったら……」

いくらでもあなた好みが変わるけど……」

「あはぁ、このままで、いいの？

じゃあ……このままあなたに接するね」

「まだ……不安はあるだろうけど……」

七森学園に入学して、良かった……？」

……うん、良かったぁ……」

「私もお……」

あなたが入学してきてくれて、

あなたに、会えて、すごく、すごく、

嬉しいよ……▼」

／＼左耳元小声で囁きます

「不安な気持ちを、今は、全て忘れて……

ゆっくり呼吸をして……

目を瞑ったまま……

リラックスしてくださいーい……」

●呼吸のみ（左耳元）

「眠くなったら……

眠っちゃっても……いいからね……？」

「今まで張り詰めていた緊張が……

少しでも……晴れるように……」

●呼吸（左耳元）

／＼左耳元小声で話します

「じゃあ……少しずつ……音楽、

小さくしていくね……

包まれていた雲が……

少しずつ晴れていきます……」

「ゆっくりと……

足が地面にしっかりついていきます……」

●呼吸（左耳元）

／＼左耳元から正面近くへ移動しながら話
します

「……どう……？」

少し、すっきりしたかなー？

これが催眠って言うんだよね」

／＼正面近くで話します

「なんだか、

疲れが取れた感じがするでしょ？

不安な気持ちも、少しなくなったかな？」

「悩んじゃって落ち着かないときは、

目を瞑って、

深呼吸して自分でやってみるのも

いいよお」

／＼右耳元へ移動しながら囁きます

「その時は……（移動）

今日の、私の声……

思い出してくれると嬉しいなー？」

／＼右耳元から正面近くへ移動しながら話
します

「明日も部活、来てくれる？」

来てくれるよね？

私、あなたに会えるの
いつでも待ってるから」

■トラック3 私のこと、特別？特別だよね？意識しちゃうよね？

★扉の音

／＼正面遠くから正面近くへ移動しながら話します

「わああああああ▼

今日も来てくれたんだあ▼」

「他の部員？ みんなそれぞれ研究してるんじゃないかなあ？」

「大丈夫、誰も来ないから。とにかく、

今日も二人つきりだよお……▼」

「あーあ……▼

部活じゃないとあなたに

会えないなんて寂しいな……▼

あなたのクラスメイトが

すっごく羨ましい……」

「こーんな素敵なあなたのこと……

毎日何時間も見てられるなんて……」

「はあ……年の差って

なんて残酷なんだろう……」

「でもお……先輩として

こうしてあなたに出会えたんだから、

それは感謝しないとね……▼」

／＼正面近くから話します

「昨日の催眠療法はどうだった？

（間5秒程度）

よく眠れたんだあ……▼良かった▼」

「じゃあ……今日は舞台催眠って言うの、
やってみない？」

「舞台催眠って言うのは、

よくテレビで見る一般的な催眠だね」

「自分の意識とは違う、

潜在意識に語り掛けるみたいな」

「……ね。ちよつと……

興味が出てきたでしょ……？」

「大丈夫、変なことはしないからあ……▼

ね、ね？

こういうものなんだって言うの、
あなたにわかって欲しいんだよ▼」

「はい▼ じゃあ、

今日もこの椅子に深く座って……」

★カーテンを閉める

／＼正面近くから右側遠くに移動しながら
話します

「カーテンを閉めて、薄暗くして……

今日は足元にランプを置いてみようか」

／＼右側遠くから正面近くへ移動しながら話します

「それじゃあ……始めていくね……▼

目を……瞑って……

足元のランプの温かい光に……

集中してください……」

★ 小さめ音楽

／＼左耳元へ移動しながら囁きます

「大きく深呼吸して……

目を瞑っていても

温かい光を感じますか……？」

「ゆっくり……ゆっくり……深呼吸して……

温かい空気を全身に送るように……」

「指先から……足の先まで……

光の温かさに……包まれて行きます……」

「深く深く……

光と、一体化するように……

沈んで……沈んで……いきます……」

●呼吸（左耳元）

「私の……声と……問いかけだけに……

耳を……傾けてください……」

「今は返事は……しないでください」

／＼左耳元で囁きます

「あなたは……」

だんだん声が出せなくなつて……

ただ……私の声だけが……

頭に残ります……」

「あなたは……だんだん……

私の声だけが……すぐ……すぐ……

頭の中に……残るようになって……

いきます……」

「あなたは……これから……

どこに、いても……

つい……私の声を……

探してしまうようになります……

私の声がないと……

落ち着かないようになっていきます……」

／＼左耳元から右耳元へ移動しながら囁きます

「私の長い髪が……

あなたの……目の前にあります……」

「手を……動かさないまま……

頭の中……意識の中で……そつと……

長い髪に……触れて行ってください……」

「頭から……毛先まで……

ゆっくり……撫で……

艶々の感触を……楽しむように……」

／＼右耳元で囁きます

「長い髪の全てを……」

触れてない場所がないように……

ゆっくり……ゆっくり……

触れていきます……」

●呼吸（右耳元）

／＼正面後ろに移動しながら左耳元で囁きます

「今度は……肩に……」

温かさと重さを感じて行きます……」

「私の身体がゆっくり……」

覆いかぶさって……

背中から、私に……抱きしめられて……

温かさに……全て包まれていきます……」

「私の……おっぱいが……」

あなたの背中に……当たっています……」

「身体が……背中からだんだんと……」

温かく……温かくなっています……」

「私の……体温を感じながら……」

私に……全てを委ねて……

私だけを……感じてください……」

「今度は……」

私が……正面から……

あなたを抱きしめていきます……」

／＼正面後ろ左耳元から正面間近にゆつくりと移動しながら囁きます

「背中にあつた感覚が……

ゆつくりゆつくり……

消えていきます……」

／＼右耳元で囁きます

「あなたの膝の上に乗つかつて……

膝の上に重さと温かさを

感じて行きます……」

「私が目の前にいるの……感じますか……？」

あなたの……顔の目の前に……

私の……顔が……あります……」

「私の……吐息を……感じてください……

目の前に……私の……唇が……

あることを……想像してください……」

「あなたの……唇が……

ゆつくりと……

冷たくなつていきます……」

「温かさを求めて……

目の前にある……私の……唇が……

すぐく……温かそうで……

柔らかそうで……

あなたは私の唇に……キスを……

したくなつていきます……」

「……ふふ……キスがしたくて……

唇が、そつと動いてますよ……▼」

／＼右耳元で囁きます

「あなたは……私とキスがしたくて……」

口の中が……少しずつ……

渴いていきます……」

「キスがしたくて堪らなくて……」

唇が……寂しくて……

私が欲しくて欲しくて……

堪らなくなっていきます……▼」

／＼右耳元から正面間近へ移動しながら小声で囁きます

「では……▼

今から……私の唇が……

少しずつ……少しずつ……

近付いて……いきます……▼」

「私と……キスをしたら……」

唇が……温かくなって……

口の中の渴きが……

和らいでいきます……」

「……ちゅっ……」

「ふふ……キス……しちやったあ……▼

もう少し……

ちゅっ……ちゅう……▼

ちゅ、ちゅうう……

はあ……はああ……▼」

「ふふ……あなたは今……」

部活の先輩と……

キスしちやってるんですよお……▼」

／＼右耳元へ移動しながら囁きます

「唇が……温かく……」

なりましたかあ……？

もっと欲しくなっちゃったあ……？」

／＼正面間近へ移動しながら囁きます

「じゃあ……もつと、もつとお……▼

ちゅっ……ちゅうう……

はあ……ちゅっ、ちゅる……

はあ……あっ……ちゅっ……」

／＼右耳元へ移動しながら囁きます

「ふふ、喉が渴いてたから、

舌を入れたくなっちゃったんですね」

「いいですよお……▼

私の口の中を全部

ぜーんぶ舐めとって……

私の唾液をいっぱいいっぱい

飲んでください……▼」

「あなたの口の中を……

私の唾液で

いっぱいにしてください……▼」

／＼右耳元から正面間近へ移動しながら囁きます

／＼演技…唾液多めディープキス

「ちゅっ、ちゅばあ……」

じゅるるっ……ちゅっ、ちゅうう……

んむ……

じゅる……ちゅっ……

ふう……ちゅっ、ちゅばあ……

じゅる、ちゅっ、ちゅうう……

ちゅっ、ちゅる……」

「はあ……目を瞑ったままなのに……

なんだか、満たされた顔してるね……▼

私とのキス……

気持ちよかったんだあ……▼」

●ディープキス

／＼正面間近から右耳元へ移動しながら囁きます

「ふふ、もっともっと、もーっと……▼

キスしたくて堪らないって顔、してるねー……▼」

「で・も……▼

今日は、ここまでにしませう……▼」

／＼正面間近から正面近くへ移動しながら
小声で話します

「全身から……ゆっくりと

空気と同じ気温に同化していきます……」

／＼正面近く小声で話します

「少しずつ……指先に力が戻って……
動くようになっていきます……」

「……はい。

深呼吸をして……

自分のタイミングで……

そつと、目を開けてください……」

／＼正面近くで話します

「はい▼お疲れ様でした▼

どうだったあ……？ 舞台催眠」

「思ってたのと、違った？

ふふふ、それはあ、私からの、
特別なプレゼントだから……▼」

「どうしたの？

また唇が小さく動いてるよ……▼
もつと、キス、したいんだ……？」

「だめだよお……▼

今日は、私と、キス、したくてしくて、
堪らないまま帰って……

明日……また……部室に来てね……▼」

「そうしたら……

ご褒美、あげるから▼

明日も……待ってるからね……▼」

■トラック4・拘束してえっちな暗示しちゃ
うゝ催眠オナニー

／＼このトラックからBGMが出てきます。

耳舐めの前後には咥え、離れのアドリブ
をいただけますと幸いです。該当箇所で
も注釈を入れておきました。

★扉の音・急いで開ける

／＼正面遠くから正面近くへ移動しながら
話します

「ふふふ、今日は早いねえ。

私に会いたくて会いたくて会いたくて、
堪らなかったんだあ……▼」

「えへへ、嬉しいな。

あなたと同じ気持ちで居れるなんて」

／＼演技…悲しそうに

「そんな……

私に変なことしたらから、なんて……

私とのキス……

気持ちよく、なかったの……？」

／＼右耳元で小声で話します

「私は、すごく、気持ちよかったよお……▼

あなたも、そうだよね……？」

「ファーストキス、貰っちゃったけど……

他に好きな人がいるわけじゃないなら、
今は、いいよね？

他に好きな人ができたなら、教えてね」

／＼演技…ちよつと含み

「そうなくても、私……大丈夫だから……」▼

／＼右耳元から正面近くへ移動しながら話
します

「じゃあ……

一日我慢してくれたあなたに、

ご褒美……」▼

はい、いつもみたいに、椅子に座ってね」

★縛り。縄の音など？がたがたしてる感
じ

／＼正面後ろから話します

「はい、暴れない暴れない」▼

今日はあ、

立ち上がれないように拘束しちゃうよ」▼

「お手手も使えないようにしようね……」▼

それから、アイマスクも……」▼

／＼正面後ろから左耳元へ移動しながら囁
きます

「今日はあ……

真っ暗な状態で……

あなたに……えっちな催眠を……

掛けていきます……」▼

★カーテンを閉める

／＼正面近くから話します

「大丈夫だよお、私しかないから……」▼

扉も鍵をかけてるし、

他の部員も誰も来ないよ」▼

／＼正面近くから話します

「大丈夫、怖いことはなーんにも、
しないからあ」

「怖がらないで、私に……

ぜーんぶ、さらけ出してね……▼」

／＼正面近くから右耳元へ移動しながら囁
きます

「ゆっくり、深呼吸してえ……

私の声だけをしっかりと聴いて……

……力を抜いて、

私に身を任せてください……」

「深く……深く……

暗闇に落ちていきます……」

「縛られたロープの箇所から……

身体が……ゆっくりと……

熱くなっていきます……」

「じわじわと……

ロープで縛られた箇所が……

熱を……帯びていきます……」

「熱くて……熱くて……熱くて……

その熱が……全身に……

伝わっていきます……▼」

「全身に……熱さが……

循環していきます……」

／＼右耳元小声で囁きます

「循環した……熱が……今度は……
身体の……中央に……」

／＼右耳元で囁きます

「あなたの、おちんちんの場所に……
熱が……集まって……
集まって……集まっていきます……▼」

／＼右耳元から正面近くへ移動しながら小
声で話します

「よいしょ……▼」

★衣擦れ・制服を脱ぎ

／＼正面近くから左耳元に移動しながら囁
きます

「あなたの目の前に……
制服を脱いで……
おっぱいをさらけ出している……
私が居ます……▼」

「見えない状態で……
私のおっぱいを……
想像してください……▼」

「柔らかくて……温かくて……
あなたの全てを包み込んでくれる
おっぱいです……▼」

「おちんちんが、
むずむずしてきましたかあ……？」

／＼左耳元で囁きます

「熱さがどんどん……

集まって、集まって……

どんどん……

触りたくなっていきます……」

／＼左耳元から正面間近へ移動しながら小声で話します

「自分のお手で……

いいいじってしたく

なっていましたかあ……？」

「触ろうとしたら、だめですよお……▼

あなたは……

これから手を使わないままで……

気持ちよくなっていきます……▼」

／＼正面近くから右耳元へ移動しながら囁きます

「今から……あなたの……

お耳を舐めていきまーす……▼」

「ちゅっ……ちゅう▼ はあ……

じゅる、ちゅっ、ちゅぱ、ちゅっ……▼

じゅる、ちゅっ、ちゅぱあ、ちゅっ、

ちゅるるっ……じゅ、じゅう……

ちゅっ、ちゅう、

ちゅっ、ちゅぱあ……▼

ちゅっ、ちゅるるっ、

じゅる、じゅるるっ……」

／＼右耳元で囁きます

「あなたは……お耳を舐められてるのに……
おちんちんを舐められている
感覚になっていきます……▼
はあむ……」

●右・耳舐めループ

「ちゅばあ…

はあ……はああ……美味しい……▼
おちんちん……すごく……
美味しいよ……？
ちゅっ、ちゅる……ちゅばあ……」

「あなたのおちんちんが……

私のお口で……
ぺろぺろ舐められている想像を……
してくださいあい……▼
はむ……」

●右・耳舐めループ

／＼右耳元から左耳元へ移動しながら囁き
ます

「ちゅば…

今度は……こっちから……(移動)
ちゅっ……じゅ、じゅるる……
ちゅっ、ちゅばあ……
じゅっ、じゅるる……
じゅ、ちゅっ、ちゅうう……
はああ……ちゅっ、ちゅう……
ちゅっ……」

／＼以降も耳舐めBGM前後、啜え始めや離れの際に適宜演技をお願いします。

「硬くて、すっごく大きくて……
ふふふ……すごくすごく……
かっこいいよ……▼」

●左・耳舐めループ

／＼左耳元で囁きます
「美味しくて、美味しくて……はあ……
もっともつと激しく……
舐めていきます……▼」

●左耳舐め・激しめ

／＼左耳元で囁きます
「はあ……おちんちん、先走り……
出て来ちゃったあ……？
もう、我慢できないんだあ……▼」

「じゃあ……私に……
手でごしごしされてる、想像……
してください……▼」

「お耳を舐めながら、手で、
ごしごしごきますね……▼」

●左耳舐め・激しめ

／＼左耳元で囁きます
「はあ、はあ……▼
おちんちん、
ビクビクしてきちゃったねえ……▼」

／＼左耳元で囁きます

「せーえき……▼

おちんちんの先から……
出したくて出したくて、
堪らないんだあ……▼」

「んちゅっ、ちゅっ、ちゅぱあ……

じゅるっ、じゅるるるっ、

はあ……そのまま、出して……
出してみて……？」

「私におちんちん

しごかれてる想像しながら……
お手手使わないで、
せーえき、びゅっびゅって、
してー……▼」

●左・耳舐め・激しめループ

／＼左耳元で囁きます

「はあ、はああ……

せーえき、出そうになつてきたあ……？
ちゅっ、ちゅる……
おちんちん、むじゅむじゅってえ……
してきちやったあ……？」

●左・耳舐め・激しめループ

「出ちやう……出ちやうの……？

はあ……いいよ……
いっぱい、出して……？」

／＼左耳元で囁きます

「ちゅっ、じゅるっ、ちゅ、ちゅう、ちゅっ、ちゅぱ、ちゅっ……ちゅう、ちゅっ……」

「……あ……▼」

／＼射精

／＼左耳元で囁きます

「身体、ビクビクしてる……▼

出ちゃったんだあ……」

／＼左耳元から正面間近へ移動しながら小声で話します

「すごいね、いっぱい出したねえ……▼

触らないで……

パンツの中に出しちゃったんだあ……▼」

「はああ……▼せーえきの……

えっちな匂い……するう……▼」

／＼正面近くから右耳元へ移動しながら囁きます

「ふふ……ゆっくり、深呼吸して……

余韻に浸りながら……

だんだんと……

地面についた足に……

力が入っていきます……▼」

／＼右耳元から正面近くへ移動しながら話します

「……はい、おしまい……▼

どうだったあ？ 喜んでくれたかなあ？」

「ふふふ……大丈夫だよお……▼

制服とパンツ、汚れちゃったこと、
気にしてるんでしょ？」

「ちゃあんと……

このために替えの制服も、
パンツも用意してるから▼」

／＼正面近くから話します

「あなたのサイズぴったりだから安心してね。

洗濯は明日までに

私がちゃんとしてきてあげるから、
大丈夫だよ▼」

「そんな顔しなくていいんだよ？

私はあなたの先輩なんだから、
これくらい当たり前だよお▼」

／＼左耳元で囁きます

「早く着替えて、一緒に帰ろう？

……明日も、絶対来てね……▼」

■トラック5. それって恋だよ？告白してくれるよね？

★次のセリフ壁越しに

／正面遠くから話します

「そろそろ……来るかなあ……▼」

★扉の音

／正面遠くから話します

「あ▼ 来てくれたあ」

／正面遠くから正面近くへ移動しながら話します

「そろそろ、

来てくれる頃だと思ってたんだよ？」

「あれ、どうしたの？

なんだか、頬が赤くなってるよ……▼」

／のぞき込むように

「私の顔見て、緊張してるの？

そっぽ向かないで、可愛い顔、見せて？」

「どうしたの？

自分の気持ち……

わからなくなっちゃってるの？

ただの先輩なのに……

って、思ってるの？」

「そしたら、それも……

催眠で自分に聞いてみる？

あなたの深層心理、私に教えて？」

／＼正面近くで話します

「あはあ、あなたも催眠慣れてきたかな？
すつごく素直だね▼」

「大丈夫、今日は縛ったりしないから……
リラックスしてね？」

★歩く足音

★カーテンを閉める

★ヒーリング音楽

／＼正面近くから右耳元へ移動しながら囁
きます

「目を閉じて……」

ゆっくり、深呼吸をしてください。

私の声だけに……

耳を傾けてください……」

「ゆっくり……ゆっくり……」

身体が……重くなっていきます……」

「身体を中心……」

一番奥を意識して……ゆっくり……

深く……深く……沈んでいきます……」

「沈んで……沈んで……」

あなたの心の一番奥まで……

辿り着きました……▼」

「私の問いかけに……」

正直に答えて言ってくださいね……？」

／＼右耳元で囁きます

「あなたは……私のことを……

部活の、先輩のことを……

どう……思っていますかあ……?」

「……出会ってまもない……?」

確かに、そうですね……」

「でも……気になっちゃう……?」

どんなふうに、

気になっちゃいますかあ……?」

「つい……私を探しちゃう……?」

私が傍に居ないのが……

落ち着かない……?」

「身体が……

私を求めちゃうんですねえ……▼」

「ふふふ……

それってえ……恋、ですね……?」

「恋です、恋ですよお。

あなたは、

まだ出会って間もないのに……

私に、運命を感じちゃってえ……

私なしじゃ生きられない身体に

なっちゃったんですよ」

／＼右耳元で囁きます

「……ほ、ら。

こうやって耳元で囁かれるのも……
癖になつてきちゃったんじゃないですかぁ……？」

「私の声を聴いているだけで……

身体の奥が熱くなつて、
もっと、してほしいって
思っちゃうんじゃないですかぁ……？」

「それはぁ、恋……恋ですよ……？」

あなたは、私のことを、
愛しちやっतんですよ……？」

「愛しちやつてる人にはぁ……

正直に、自分の気持ちを
伝えるのがいいと思いますよぉ……？」

★音楽止め

／＼右耳元から正面間近へ移動しながら小
声で話します

「じゃぁ……

自分の気持ちをまっすぐに……
私に……告白してください……▼」

／＼呼吸のみ5秒程度・告白しているよう
に

正面間近で小声で話します

[.....§§§§§§.....]

嬉しい……嬉しい……

すつごく、嬉しい……▼」

「私も、あなたのこと、愛しています。」

世界で一番愛してる。一生大事にする」

「ずつとずつとずつとずつと、

離さない、絶対離さないからあ。

ずーっと一緒に居て、幸せになろうね▼」

「今日から私が彼女だよ？」

私のことは『まりか』って呼んでね？

はい、言ってみて……？」

問

「んふ……ふふふ……嬉しい……▼」

正面間近から正面近くへ移動しながら
小声で話します

「結婚はもう少し先になっちゃうかもだけど、婚約は早めにしちゃおうね？」

「あなたの両親にもご挨拶しなきや。」

私のこと、

娘だっと思ってくれるかなあ？」

「あなたのことこんなに愛してるって
伝わるようにしなきゃ。」

私たちの関係、認めてくれるといいな」

／＼正面近くから話します

「それじゃあ……▼

スマホ、出してくれる？」

★スマホ取り出し

「じゃあ、女の子の連絡先、
全部、消そうね？」

「メールと電話番号もだし、
SNSも全部だよ？」

あなたのスマホで連絡を取れる女の子は、
私だけにしてね？」

「あ、お母さんとかおばあさんとかは
もちろん残していいよ。
家族は大事だもんね」

「これからは私のお母さんと
おばあちゃんにもなるんだから……▼

★スマホをいじるようなポチポチした音

「へえ……

こんなに連絡先入ってたんだねえ……」

「これは前の学校の人？
もう会うことないから消していいよね」

「これはクラスの人……？
男の子のお友達だったらいいよ。
女の子だったらみんな消してね」

／＼正面近くから話します

「クラスのグループがあるの？」

それは抜けちゃおつかあ」

「大丈夫、

スマホ持ってない人だっているでしょ？」

「連絡なんて、

わざわざ取る必要ないよお。

もし必要なら、

私が仲介してあげるから▼」

「あなたにとって大事なのは私だけだよ？」

私がずっと傍に居るから……

私だけ、見ててね？」

「約束だよ。

絶対、絶対、絶対だからね……？」

「もし、私に隠し事したりしたらあ……

私、ショックで……

どうなっちゃうかわからないかも……▼」

／＼正面近くから左耳元へ移動しながら囁
きます

「ふふふ、（移動）

これから、よろしくね」

■トラック6 獣みたいに愛して？

／／最初から催眠

★音楽

／／演技…えっちな催眠なので、吐息など工夫してちよつとえっちな感じにお願いします。

／／正面間近小声で話します

「そつと……目を、瞑ってください。

椅子に腕を掛けて……

リラックスして……

深呼吸をするたびに……

身体から、力が抜けていきます……▼」

「自分の身体じゃないみたいに……

身体が、どんだんどんだん、

重く、重くなって……

椅子に支えてもらってる

みたいになっていきます……▼」

／／演技…小声中心で、えっちな言葉などは囁きで、どちらかというと囁き多めです。
お願いします。

／／正面間近から右耳元へ移動しながら囁きます

「あなたは……眠る寸前のような……

真っ暗闇の中にいます……」

〳〵右耳元小声で話します

「今から……身体の……中央が……

あなたのおちんちんが……

熱く……熱く……

熱くなっていきます……▼」

〳〵右耳元で囁きます

「あなたの……おちんちんは……

私のおまんこに……

入りたくて入りたくて……

入りたくなって……▼

どんだん……熱く……

熱くなっていきます……▼」

「熱く……熱く……

すぐく……大きくなって……

すぐく……すぐく……

苦しいくらいです……▼」

「……はい▼

あなたの目の前には……

裸の私が居ます……▼」

★クチュ音・小・ループ

〳〵演技…オナニーしてる風

「んあ……はあっ……あっ……▼

くちゅくちゅって……

聞こえますか……？

あ……あっ、んんっ……

んふ……んっ……▼」

／＼右耳元で囁きます

「これはぁ……▼」

私の、おまんこの愛液の音です……▼」

「はぁっ……あなたが欲しくて

びちよびちよになって……

あなたが来てくれるのを

待っています……▼」

★くちゅ音止め

／＼荒い呼吸・5秒程度

「今からあなたは……

狂暴な狼さんになります……▼」

「狂暴な狼さんは……

おちんちんの性欲に正直になって……▼

はぁ……▼

私のおまんこに……

熱くなったおちんちんをねじ込んで……

真っ白なせーえきを、

びゅっびゅっ

しなきゃいけません……▼」

「あなたの……大事な赤ちゃんの種を……

私の子宮に何回も何回も届けて……

今日だけで……絶対……

妊娠させてあげなきゃいけません……▼」

「限界まで、何回も何回も腰を振って、

いっぱいいっぱい気持ちよくなって、

真っ白なせーえき、

いっぱい出してください……▼」

／＼右耳元で囁きます

「それが……狼さんとしての……」

あなたの本能で……

そうじゃないと、熱く熱くなった

あなたのおちんちんは……

おさまりません……▼」

「あなたは狼さんだから……▼

性欲を、欲求を、治めるためなら、

何をして構いません……▼」

「はぁ……▼狼さんだからあ……

多少、乱暴にしちやっても……

仕方がないです……▼」

「私は……あなたの全部を……

受け止めちゃいます……▼」

「はぁ……楽しみすぎて……幸せ……▼」

「犯したい、犯したい、犯したい、

犯したいって……

その気持ちだけで……

あなたは……

頭がいつぱいになっていきます……▼」

「私を絶対孕ませて、

赤ちゃん産ませてやるって、

思ってくださいね……▼」

「はぁ……吐息が……

荒くなってきましたね……▼」

／＼右耳元で囁きます

「もう、無理……」

犯したくて犯したくて堪らない、
我慢できないって思ったら……
だんだんと……指先から……
感覚が戻っていきます……▼」

「目を開けたら……」

目の前にいる裸の私を……

狼さんみたいに……

犯しちゃうんですよ……▼」

「あはぁ……感覚、

戻ってきましたか……？」

「じゃあ……3、2、1で

目を開けてくださいね。

3、2、1……はい▼」

／＼右耳元から正面間近へ移動しながら話
します

「きゃっ……▼」

★バンっ、押し倒すような音

／＼正面間近で話します

「はぁ、あっ、そう、そうですよっ▼

おまんこ、おまんこだけ目掛けて、

挿入してくださいっ▼

入りたい、入りたいって、

してくださいっ▼」

／＼正面間近で話します

／＼演技…挿入

「あつ、あああつ、あああつつつつ▼」

「はあああああつ！ 入っちゃった、

入っちゃった、

入っちゃったあああああつ▼」

「あなたのおちんちんつ、

私のおまんこに、

入っちゃってるよおつ▼▼▼」

「はあつ、あつ、あああつ、ん、んう、

あつ、ああつ▼ あつ、ああつ▼

はああつ、幸せすぎて、

おまんこがあなたのおちんちん、

絶対放さないって抱きしめてるっ……▼」

「はああつ……

とにかく、出したくて出したくて、

苦しそうだね……▼

いいんだよ、いっぱい、いっぱい、

いっぱい動いて？」

★クチュ音・パンパンループ

「あああああつ▼ あ、あああつ、

そう、そうう、あああつ▼

おちんちん、気持ちいい、

気持ちいいよお▼」

／＼正面間近で話します

「ひくう、あ、あつ、あああつ、

あつ、あああつ！

大好きな人のっ、おちんちん、

やばい、やばいつ、あああああつ、

気持ち、よすぎてっ、すごいよお！

あああつ、あああああつっ！」

●喘ぎループ

「はあっ、はああああつ！

気持ちいい、気持ちいいよおっ、

もつと、もつと、して、していいよっ▼」

「あなたの性欲う、はああつ、私に、

全部、受け止めさせてっ▼」

「はああああつ▼

あつ、あああつ、んふ、

はあ、あつ、はああつ▼

好きっ、好きっ、すきい！

ああつ、あつ、はああつ！

あつ、んんっ、んふ、んっ、

あつ、あああつ、ああつ▼」

●喘ぎループ

「あああああつ、はげし、

いいっ、あつ、ああつ▼

んはあああつ、ひ、ひう、

あつ、ああつ▼」

／＼正面間近で話します

／＼演技…絶頂一回目

「はあああああつ！ あつ、

あああああああああつつつつ！！！」

／＼射精

／＼正面間近で話します

／＼演技…絶頂後深い吐息

「はあああああ…はあ…

あああ、子宮に当たって…

ドクドク、してるう……」

「あああつ……▼

出して、くれたんだあ……▼

はああ…嬉しい…幸せ……▼」

「好きな人とのセックスが…

こんなに激しくて幸せなんて

知らなかったあ。

もっともっとしたくなっちゃうね……▼」

／＼正面間近から左耳元へ移動しながら囁

きます

「はあ…せーえき、

止まっちゃったあ……▼」

「出してくれて嬉しいけど、

でも、でもお……

一日で私を孕ませるには、

まだまだ、足りないよお……▼」

／＼左耳元から正面間近へ移動しながら囁きます

「んふふう……あなたもお……」

まだまだ、全然足りなそうな顔、
してるねー……▼

おちんちん、おまんこの中で、
硬くなったままだよお？」

／＼正面間近から正面後ろ向きになりながら話
します

「ひゃっ……」

★体位替え、押し倒す感じ

／＼マイクに対して背を向けるようになります。
顔だけ後ろを向くように

／＼正面後ろ向きで話します

「あああああつ……▼

今度は、後ろからあ……▼

はあ、あつ……▼」

★くちゅ＋パンパン

「ああああつ、いいつ、いいよう▼

動物、みたいにつ、あああつ、後ろから、
突かれちゃってるっ▼」

「んふ、あつ、ああつ、ああああつ、

はあつ、んんっ、あつ、ああつ！」

「さつき、出してもらったつ、

あなたのせーえき、

おまんこいっぱい、広がっちゃうつ、
あつ、ああつ▼」

／＼正面後ろ向きで話します

「もつとっ、ぐちゅぐちゅになつてっ、
動きやすくなつてっ、あ、ああつ、
あなたのせーえきで、いっぱい、
染められちゃうっ、あ、
ああつ、ああつ▼」

●喘ぎ・バック

「はああつ、後ろから、動き、
やすいんだあ▼
はあああつ、気持ちっ、
いいところ、おちんちん、当たる、
当たるうっ▼ んうう▼」

●喘ぎ・バック

「はああああつ▼ いいっ、いいよおっ▼
あああああつ▼
またっ、出ちやうのっ、いいよっ▼
いくらでも、出して、
出して、出してえっ▼」

「はああああつ、あつ、あああああつ▼
気持ち、いいっ、気持ちいいっ、
気持ちいい、気持ちいい▼
あつ、ああつ、あつ、あつ……▼」

／＼演技…絶頂

「ああああああつ、あつ……
あああああああああつっつっつ▼▼▼」

／＼射精

／＼正面後ろ向きで話します

「はあああああ……せーえき……

せーえき……せーえき……▼

どくどくつてえ、

子宮に届いてるよお……▼」

「はああ……▼▼▼

赤ちゃん、できちゃう……▼

幸せすぎて……はああ……▼」

／＼正面後ろから正面近くへ移動しながら
話します

「はあ……どうしたの……

激しすぎて、

ちよつと疲れちゃったのお……?」

「ふふふ、セックス、

初めてだもんねー……▼

せーえき出すのもお……

すつごく体力使うって聞いたよ……?」

「じゃあ……少し休憩しようか……▼」

■トラック7…私に全部任せて、私だけのあなたになってね▼

／＼正面近くから遠くへ移動しながら話します

「じゃーあ……この椅子、座って？
繋がったまま、催眠掛けてあげる……▼」

★椅子に座るなど立ち位置移動

／＼正面間近で話します話します
「あ……あつ……あああつ……▼
んんんっ、んふ、はあ……っ▼」

／＼正面間近から右耳元へ移動しながら囁きます

「はああ……また入っちゃったあ……▼」

★くちゅ音・椅子ギシギシ少し

「はあ……はああ……▼
初めてでえ……
2回もせーえき出してくれて、
ありがとう……▼
頑張ったねー……▼」

「でもお……まだ、足りないんだね……▼
それくらい、いっぱい、
私のこと愛してくれてるんだあ……▼」

「まりかのおまんこは……温かくて……
気持ちいいですか……？」

／＼右耳元で囁きます

「ぐちゅぐちゅで……」

ぬるぬるですかぁ……？

感じたことのない、感覚ですかぁ……？」

「ふふふ……あなたが喜んでくれて……」

嬉しい……▼」

「その温かさと気持ちよさが……」

あなたの全身を……包んでいきます……」

「頭までぜーんぶ、

温泉に浸かっているみたい……」

お母さんの羊水に

浸かっているみたい……」

「心地よくて……」

あったかくて……気持ちよくて……」

あなたはこれからぁ、ずーっと……、

私とセックスするたびに……」

こんなふうに気持ちよくて

堪らなくなります……▼」

「はぁぁ……▼

とけちゃいそうな顔、してるね……」

可愛い……▼」

「全身があったかくて……」

気持ちいいですかぁ……？」

「気持ちよすぎて、リラックスしてえ……」

身体が、ふよふよと浮いているみたい

な感覚になっていきます……▼」

／＼右耳元で囁きます

「私に……身を任せてくださいねえ……」▼

／＼右耳元から正面間近で囁きます

「まずはあ……大好きな人と……」

抱き合って、

キスをしていきましょう……？」

／＼演技…ディープキス

「ちゅっ……ちゅっ、ちゅう……」

じゅる……ちゅっ、ちゅるる……

んふ……んんっ……」

「お互いの、舌を、絡ませてえ……」

一体化して、

二人で溶けちやうように……」

「私を温かい世界に引っぱりこむように……」

ゆっくり大事に、

キスを試みましょう……」

／＼演技…ディープキス・ゆっくりめ

「ちゅっ、んちゅっ……はああ……」▼

ちゅっ、ちゅぱ、ちゅるる、ちゅう……

んちゅっ、んふ、ちゅっ、ちゅう……

じゅる、ちゅっ……

はああ……好き……

ちゅっ、んふう……ちゅっ……はあ……」

「ふふう、キスは、

楽しめましたかあ……？」

／＼正面間近で囁きます

「お口、もつとしたくて、
寂しそうですね……▼」

／＼正面間近から右耳元へ移動しながら囁
きます

「でも、今度はあ……」

「今から……お耳が……性感帯になって……
私の、声や……聞こえてくる音に……
身体が……ビクビクしちゃうように……
なっていくます……▼」

「ふ………
息を吹きかけられるだけでも……
全身が、ぞわぞわ
しちゃいますかあ……？」

「それでは今から……
お耳を舐めていきます……▼」

／＼ゆっくりめで大事に
「んちゅっ……んふ、ちゅっ、ちゅばあ……
ちゅっ、ちゅるるっ……
んちゅっ、ふうう……」

「んふふ、身体が、
ビクビクしてきましたねえ……▼
お耳、気持ちいいですかあ……？」

／＼右耳元で囁きます

「ちゅっ、ちゅうるる……」

ちゅば、じゅる……ちゅっ……ふう……

ちゅば、ちゅる……んちゅっ、ちゅう

……んふ、ちゅ、ちゅるる……▼」

★椅子ギシギシ

「気持ちよすぎて……」

腰が動いてきちゃいましたかあ……？」

「いいんですよお、

おちんちんに正直になって……

動きたいときに、

動いてくださいねえ……▼」

／＼右耳元から左耳元へ移動しながら囁きます

「じゃあ……今度は左耳に……」

「ふ——……ふ——……」

息を吹きかけられてるだけなのに……

ふふふ——……▼

堪らないって顔、してるね——……▼」

「催眠セックスを覚えてしまった

あなたはあ……▼

もう、私とのセックス以外では、

興奮できなくなってしまう……▼」

「ちよつとでも興奮したときはあ……▼

私とのセックスを思い出して、

私としたくなっちゃいます……▼」

／＼左耳元で囁きます

「あなたがセックスしたくなっちゃったら、
私は……いつでも受け入れるし、
いつでもしまーす……▼」

「だから、他の女の子で興奮したり……
AVとかも、

絶対見ちゃだめですよ……？」

「どうしても見たくなったらあ、
私のえっちな写真でも動画でも、
いくらでも撮っていいから……
私だけ……私だけです……▼」

／＼耳舐めゆつくり

「んちゅっ……ちゅっ、ちゅるる……
ちゅっ、ちゅぱあ……
じゅる、ちゅっ、ちゅう……
ちゅ、んちゅ……はああ……
ちゅっ、ちゅぱあ……
ちゅるるっ、ちゅっ……んっ……」

／＼左耳元から正面間近へ移動しながら小
声で話します

「はあ……少し休憩したから……
また、したくなってきましたかあ……？
腰がガクガクってしてきましたよお？」

「じゃあ……今から、あなたはもう一度……
狼さんになっちゃいます……▼」

／＼正面間近小声で話します

「気持ちいい羊水の中から抜け出して……」

ガンガン腰を動かしたく

なっちゃいます……▼」

「3、2、1……はい……▼」

★くちゅ音+椅子ぎし音などループ

／＼先ほどよりやや激しく

「あああ！あつ！ んんっ……」

いきなり、突き上げて……

っ、あつ、ああっ▼」

「あつ、あああああつ、気持ち、いいっ、

はあ、あつ、あああああつ、

セックス、好きっ、あなたとのっ、

セックス、好き、好きいつ！

あつ、あああああつ、あつ、

はあああつ▼」

「はあつ、あつ、あああつ、

んっ、んふ、ん、あつ、あああつ！」

●喘ぎ・対面座位

「ああ、あつ、んんっ、はああつ！

はげ、しっ、あつ、ああああつ、

孕んじやうっ、ああああつ、

こんな、あつ、ああああつ、

絶対っ、はああつ、赤ちゃん、

できちゃうう！」

／＼正面間近で話します

「はぁぁぁあつ！ 赤ちゃんつ、

赤ちゃん欲しいっ！

大好きなあなたとのっ、赤ちゃんつ、

赤ちゃんつつつ、

ひくつ、う、ぁあつ、あつ、

ぁぁぁああつ▼」

●喘ぎ・対面座位

「はぁぁああつ、またつ、出ちやうつ、

出ちやうのっ！？」

欲しいっ、欲しいっ、私のっ、

一番、奥う！」

「あつ、ぁぁぁあああつ！

子宮につ、ぁぁああつ、全部っ、

ぁああつ、全部、全部、全部、注いでっ、

赤ちゃんの種っ、頂戴つつっ！」

「ああつ、はぁぁあああつ、

私、絶対っ孕むっ、孕むからあつ、

あなたの赤ちゃん、絶対、産むからあ！

あつ、ぁぁぁああああつあつ、

ぁああつ！」

★くちゅ音+椅子ぎし音などループ・
激しめ

●喘ぎ・対面座位

正面間近で話します

「ひあああああつ、私もつ、私もつ、
イツちやうつ、

「イっちゃうっちゃうっちゃうっ！」

「あつ、ああああああつ、あつ、
あああつ、あつ」

演技最後の絶頂なので、長め+激しめに

[illegible]

二、射精

「はあ……あああああ……」

あああ……せーえき……

どくどく……

いーっぱい……出てる……

子宮に……注がれちゃってる……▼
嬉しい……▼」

「あああ……あなたのせーえきで、

おなかの中たふたふになりすぎて……

おまんこから……

溢れて来ちやつたあ……▼

勿体ない……▼」

「……ふふふ、大丈夫……」▼

私、排卵日ちゃんと記録してて、今日はばっちりの危険日だからあ……だから、絶対絶対、

妊娠するからね……▼」

／＼正面間近で話します

「でも排卵期は、

ずれちやうこともあるから……

一応、明日も明後日も、

中出しセックス、しておこうかあ……？」

「ふふふ、オナニーする暇もないくらい、

これからもセックス……

楽しもうねー……▼」

／＼正面間近から左耳元へ移動しながら囁
きます

「だーいすき……▼

私だけの……王子様……▼」

■トラック8. これからもずっと一緒だよ？

★扉の音

／＼正面遠くから正面近くへ移動しながら
話します

「……あつ▼

来てくれたあ▼

会いたかったよお……▼」

「今日はね、

あなたに見せたいものがあるの」

「じゃーん……▼

これ、見たことないかな。

妊娠検査薬って言うんだよ？」

「こっち側に、線が入ってるでしょ？

これがね……陽性ってこ・と▼」

「ふふう、そうだよお、私のお腹の中に、
あなたの赤ちゃんいるんだよお▼」

「ほらほら、お腹触ってみて……？

まだ、実感わかないかなあ。

赤ちゃん、聞こえますか？

パパだよお……▼」

「そんなに不安そうな顔しないで？

まだ学生だからって

思ってくれてるんだよね？」

／＼正面近くで話します

「大丈夫。

パパとママにはもう話してあるから▼」

「二人がちゃんとして協力してくれて、

赤ちゃん育てるの手伝ってくれるから▼」

「だから、あなたはこれから学園に通って、
ちゃんと勉強して卒業してね▼」

「お金のことも今は心配しなくていいからね。
パパとママが援助してくれるから▼」

「あ、卒業したら私のパパの会社を
紹介することもできるから、
就職のことも心配しなくていいからね▼」

「もちろん、やりたい仕事があったら
夢を追いかけてもいいし、
私は、あなたの妻として、
なんでも応援するから……▼」

「ふふふ……私の赤ちゃん……▼
元気に育って、
元気に生まれてきてね……
早く会いたいなあ……▼」

「私は産休と育休取って、
落ち着いたら復学するつもりだよお▼」

「そうしたら、あなたと同じ学年になって、
一緒に過ごせるから▼
絶対同じクラスにしてもらうの」

／＼正面近くから話します

「ふふふ、すつごく楽しみだね▼」

「まずは両家顔合わせしてえ……▼

これからのこと、

一緒に考えていこうね▼」

「あ、でもお腹大きくなる前に

ウェディングドレスだけ着たいかも▼」

「生まれる前の写真も、

ちゃんと残しておきたいし▼」

「落ち着いたら子どもと3人での
結婚式あげようね」

「赤ちゃんが生まれるまで、

二人の生活楽しもうね……▼」

「それからは、3人で……

ううん、赤ちゃん、

もっと欲しいなあ……▼」

「あなたとの赤ちゃん、

絶対可愛いもん……▼

何人でも欲しいくらい……▼」

「これからもずっとずっと、一緒だよ▼」

／＼左耳元へ移動しながら囁きます

「ずっと、幸せに暮らそうね……▼

だーいすき……▼」

・吐息

右耳、左耳、正面からで少し貰っておい
た方がいいかもです。

／トラック4で使用

・耳舐め・右（ゆつくりめで唾液多めで
お願いします）

じゅるっ……ちゅっ、ちゅう……

んふ……ちゅ、ちゅばあ……ちゅっ……

ふう……ちゅっ、ちゅるる……っ、

ちゅっ、んむ、ちゅ、ちゅばあ……

ちゅっ……

・耳舐め・左（ゆつくりめで唾液多めで
お願いします）

ちゅっ、ちゅくっ……

ちゅ、ちゅばあ……ちゅるるっ……

ちゅっ……ふうう……

ちゅ、ちゅるるっ……じゅる……

ふう……ちゅば、ちゅっ……

・耳舐め・左・激しめ（夢中で吸うよう
に激しくお願いします）

ちゅっ、ちゅばあ、ちゅっ、ちゅくっ、

はあ、ちゅっ、ちゅむ、じゅるるっ、

ちゅうう、ちゅっ、ちゅむ……じゅる、

ふあ……ちゅ、ちゅくっ、ちゅ、

ちゅるるっ、ちゅ、

じゅる、ちゅっ……！

／＼トラック6で使用

・喘ぎ（正常位で獣のように突かれまく
つてる激しい喘ぎです）

あつ、あああああつ、はあつ、う、
んんつ、あ、ああつ、ああつ、はあつ、
はつ、んんつ、んくつ、んんんつ、あつ、
あああつ、あつ、あああつ ▼
はあ、あつ、ああつ！

・喘ぎ・バック（バックで獣のように突
かれまくつてる激しい喘ぎです）

んくううう、あ、あつ、ああああつ、
は、はあつ、あつ、ああつ！
はあつ、ん、んう、あつ、ああつ！
は、はあつ、あつ、あつ、あああつ ▼

・喘ぎ・対面座位（正面間近か抱き着い
て耳どつちか？激しく喘ぎです）

あつ、あああああつ、ひく、
う、あつ、あああつ！
はあつ、う、あつ、あつ、あああ！
はああつ、ん、んあ、う、あつ、
ああつ、はあつ、ああつ ▼